

うまれる。

# The 7th GIFU ART EXHIBITION 第7回 ぎふ美術展 作品募集

あふれだす。

2026.  
**8.8**(土) — **8.23**(日)

観覧無料

◎開館時間:10:00~18:00

(初日は14:00から、最終日は14:30まで)

◎休館日:8月10日(月)、17日(月)

◎主催:岐阜県・岐阜県美術館、(公財)岐阜県教育文化財団

◎お問合せ:(公財)岐阜県教育文化財団

〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階

TEL:058-233-8161(県民文化課)

e-mail:gecf@g-kyoubun.or.jp

**岐阜県美術館** The Museum of Fine Arts, Gifu  
岐阜市宇佐4-1-22

部門 | 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・自由表現

応募料 [ 銀行振込 ] 2026年4月1日(水)~7月8日(水)

納付期間 [ クレジットカード払い ] 2026年4月1日(水)正午~7月8日(水)正午

作品搬入日 [ 飛 騨 ] 2026年7月14日(火)12:00~16:00 高山市民文化会館

[ 東 濃 ] 2026年7月15日(水)12:00~16:00 パロー文化ホール

[ 岐 阜 ] 2026年7月18日(土)10:00~15:00 岐阜県美術館

19日(日)10:00~14:00

公式HP

<https://www.gifu-art.jp>



# The 7th GIFU ART EXHIBITION

## 第7回 ぎふ美術展 作品募集

- ・応募方法の詳細については、応募要項（ぎふ美術展公式ホームページに掲載）をご覧ください。
- ・公式ホームページでは、過去の展覧会場をパソコン、スマートフォン等でVR体験できる「3Dバーチャル美術展」を公開しています。ぜひご覧ください。
- ・ぎふ美術展に関する重要なお知らせは、公式ホームページに掲載しますので、適宜ご確認ください。



公式HP  
<https://www.gifu-art.jp>

### 応募規定

|      |                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------|
| 応募資格 | 制限なし。どなたでもご応募いただけます。                                        |
| 応募点数 | 1部門につき1点                                                    |
| 応募料  | 1点につき2,000円<br>ただし、大学生等の方は1,000円、<br>高校生以下及び障害者手帳等をお持ちの方は無料 |

### 審査会

2026年7月22日（水） 岐阜県美術館

### 賞

| 賞      | 作品数    | 副賞        |
|--------|--------|-----------|
| ぎふ美術展賞 | 各部門1点  | 制作支援費10万円 |
| 優秀賞    | 各部門2点  | 制作支援費3万円  |
| 奨励賞    | 各部門若干数 | —         |

### 出品の主な条件

- (1) 出品者本人、又は出品者本人を含むグループが創作したものであること。
- (2) 審査を伴う公募展で展示されていない作品であること。
- (3) 著作権、肖像権、その他の他者の権利（人格権、プライバシー権）を侵害しないものであること。

※権利侵害の例

他者の作品を承諾なしに模写した作品、他者の作品をまねた作品、  
承諾なしに他者の顔がはっきりと写り込んでいる写真、  
住居や車両等他者を特定できる情報を承諾なしに表現した作品 等

### 審査員

|      |                                               |                                              |
|------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 日本画  | <b>立島 恵</b><br>佐藤美術館学芸部長／<br>名古屋芸術大学特別客員教授    | <b>福田 千恵</b><br>日本画家／<br>日本芸術院会員             |
| 洋画   | <b>小林 孝亘</b><br>画家／<br>武蔵野美術大学教授              | <b>長屋 光枝</b><br>愛知県美術館副館長<br>兼企画業務課長         |
| 彫刻   | <b>絹谷 幸太</b><br>彫刻家                           | <b>土方 明司</b><br>川崎市岡本太郎美術館館長／<br>武蔵野美術大学客員教授 |
| 工芸   | <b>島崎 慶子</b><br>菊池寛実記念智美術館学芸課長                | <b>中村 信喬</b><br>福岡県無形文化財保持者／<br>日本工芸会人形部会長   |
| 書    | <b>名児耶 明</b><br>書文化研究者／<br>筆の里工房館長            | <b>真神 巍堂</b><br>書家／<br>日展理事                  |
| 写真   | <b>大竹 昭子</b><br>文筆家                           | <b>長島 有里枝</b><br>アーティスト／写真家／<br>文筆家          |
| 自由表現 | <b>妹島 和世</b><br>建築家／SANAA 共同主宰／<br>東京都庭園美術館館長 | <b>宮田 亮平</b><br>金工作家／日本芸術院会員／<br>日展理事長       |

### 作品規格

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本画  | <ul style="list-style-type: none"><li>・大きさは、縦250cm以内、横200cm以内とする。（額縁の幅を含む）</li><li>・額装する場合は、額縁の幅は5cm以内、ガラスもアクリルも不可とする。（画用紙など薄い紙の作品は破損防止のため必ず額装すること）</li><li>・壁面展示ができるよう、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 洋画   | <ul style="list-style-type: none"><li>・大きさは、縦250cm以内、横200cm以内とする。（額縁の幅を含む）</li><li>・額装する場合は、額縁の幅は5cm以内、ガラス不可、アクリル可とする。（画用紙など薄い紙の作品は破損防止のため必ず額装すること）</li><li>・壁面展示ができるよう、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 彫刻   | <ul style="list-style-type: none"><li>・大きさは、自作の台座等を含めて、高さ250cm、横幅200cm、奥行200cmの空間内に収まることとし、重量は1t以内とする。1点に荷重が集中する場合は、台座をつけること。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 工芸   | <ul style="list-style-type: none"><li>・陶器、磁器、漆、金属、染織、木工、竹工、七宝、革、ガラス、紙、人形、その他とする。</li><li>・平面作品の大きさは、縦250cm以内、横200cm以内とする。（額縁・支持体の幅を含む）</li><li>・額装する場合は、額縁の幅は5cm以内、ガラス不可、アクリル可とする。</li><li>・壁面展示をする場合は、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li><li>・立体作品の大きさは、自作の台座等を含めて、高さ250cm、横幅200cm、奥行200cmの空間内に収まることとし、重量は200kg以内とする。1点に荷重が集中する場合は、台座をつけること。</li><li>・組作品については、個数は自由だが、展示の状態で上記の空間内に収まること。また、必要に応じて展示用具を用意すること。</li></ul>                                                                       |
| 書    | <ul style="list-style-type: none"><li>・大きさは、縦250cm以内、横200cm以内とする。（額縁の幅を含む）</li><li>・額装する場合は、ガラスもアクリルも不可とする。ただし、篆刻作品、及び半切（35cm×137cm）以下の作品については、アクリルのみ可とする。</li><li>・壁面展示ができるよう、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li><li>・文字性の有無は問わない。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 写真   | <ul style="list-style-type: none"><li>・プリント作品の大きさについては、縦250cm以内、横200cm以内とする。（額縁の幅を含む）</li><li>・パネル張り、又は額装とすること。額縁の幅は5cm以内、ガラスもアクリルも不可とする。</li><li>・壁面展示ができるよう、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li><li>・プリント作品の組写真の場合、枚数は自由だが、展示の状態で上記範囲内に収まること。</li><li>・デジタルデータによる応募作品については、JPEG形式で20MB以下とする。データ応募での組写真の場合、枚数は10枚までとし、合計で200MB以下とする。ぎふ美術展公式ホームページからアップロードすること。</li><li>・プリント作品もデジタルデータ作品も、写真の補正、修正、合成、加工、改変、その他の画像処理についてはすべて自由とする。ただし、用いる写真はすべて出品者本人が撮影したもので、審査を伴う公募展で展示されていないものであること。</li></ul> |
| 自由表現 | <ul style="list-style-type: none"><li>・上記部門に含まれない又は部門をまたがる芸術表現とする。</li><li>・映像作品については、再生時間は15秒以上5分以内とし、映像前後に2秒間の黒味を入れること。データは、MP4形式でDVD又はブルーレイ・ディスクに収めること。またPCで再生可能な形式とすること。</li><li>・映像作品以外の作品の大きさは、自作の額縁・台座等を含めて、高さ250cm、横幅200cm、奥行200cmの空間内に収まることとし、重量は1t以内とする。1点に荷重が集中する場合は、台座をつけること。</li><li>・額装する場合は、ガラスもアクリルも可とする。</li><li>・壁面展示をする場合は、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。</li></ul>                                                                                                           |